



**当院の桜が
見頃を迎え
ました！**



外科外来・乳腺外来のご紹介

外科外来

は、手術によって病気を治療することを主な仕事としています。当院の外科では消化器（胃腸や肛門、肝臓、胆嚢、すい臓など）や乳腺、ヘルニア（脱腸）などを主に扱っています。消化器や乳腺の病気のうち、治療に手術が必要なもの（つまり外科で扱う病気）の約50%が癌です。

癌は手術が終わればもうおしまい、というわけにはいかず、再発してこないかどうか、定期的にチェックしていく必要があります。そのため、胃癌や大腸癌では最低5年、乳癌では10年以上にわたって通院していただく方がほとんどです。“5年（10年）間お疲れ様でした。もう再発の危険もないと思いますので、今回で終了にしましょう”の日まで、長い道のりですがお互いにがんばっていきましょう。



ふくくうきょうかひぞうかいそうじゅつ
腹腔鏡下脾臓開窓術風景*



*** 腹腔鏡下脾臓開窓術**
傷が小さく体に負担の少ない手術です。

乳癌

はわが国では女性において罹患率^{りかんりつ}が最も高い癌です。また死亡率も増加傾向にあり、特に30-64歳の女性における死亡率は、乳癌が第1位となっています。

乳癌は発見されたときの病期（進行度）によってその治療成績が大きく左右されます。早期乳癌では90%に近い方が完治されますが、進行癌になると半数以下になってしまいます。

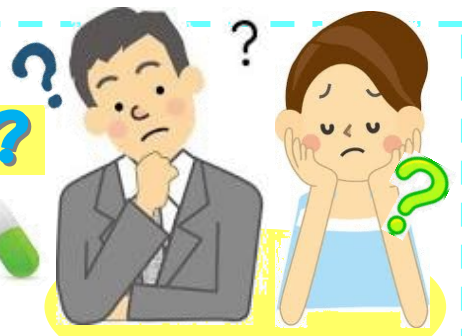
乳癌の早期発見にはマンモグラフィーによる定期検診が有効です。40歳以上の、特に自覚症状のない女性では、2年に1回の検診が薦められています。

乳癌検診で要精密検査となった方のうち、実際に癌が見つかるのは2%程度です。要精査となってもあまり心配しすぎずに、きちんと精密検査を受けましょう。

乳腺外来では、＜乳房にしこりがある＞＜乳房が痛い＞＜乳首から分泌物が出る＞などの症状の方、乳癌が心配なので一度検査を受けてみたいという方、職場や地域の検診で要精密検査といわれてしまったという方などの診療にあたっています。どうぞお気軽にご相談下さい。

 **乳腺外来の受診をご希望される方は、診療予約受付電話(裏面下)にてご予約下さい。**

薬剤科のご紹介



受け取ったお薬正しく飲めていますか？

専門薬剤師へご相談を！



病院で診察後に医師から処方されたお薬は、かかりつけの保険調剤薬局や病院内の薬局から受け取っているかと思えます。その「お薬」飲めていますか？

当院では、病棟に常駐している専任薬剤師が入院患者さんの持参されたお薬について飲み方や保管方法、サプリメント等を一緒に飲んでいるかなど伺っています。その中でもよく耳にするのが、「自分でお薬の量を調節しているから残っている薬がある・・・。」です。

昨年10月、高血圧・高脂血症・糖尿病のいずれかで病院に通院中でお薬の処方を受けている患者さん300人と医師・薬剤師100人の計500人を対象にインターネットで「処方薬の飲み残しに関する意識調査・実態調査」が行われました。この結果から、患者さんの約5割が「処方された薬を飲み忘れることがある」と回答していました。その理由として7割の方が「うっかり忘れてしまうから」と。また、「数日飲み忘れても問題なし」と6割の患者さんが回答しています。その一方で、医師・薬剤師の約4割が「患者さんは飲む意味を理解して正しく服用できている（アドヒアランスが得られている）」と答えています。

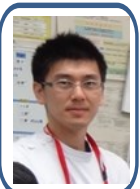
糖尿病や高血圧など生活習慣病の治療薬は、予防を目的としているお薬もあり、「効果を実感できない」ものもあります。そのような不安や継続して飲むことに疑問があるときには、病棟の専任薬剤師にご相談ください。また、病棟の専任薬剤師からかかりつけの薬局へ患者さんの特徴あるお薬の使い方などを情報提供することもあります。退院後も安心してお薬をお飲みいただくためにもお薬説明書をお渡ししております。

当院には、糖尿病療養指導士の資格を持つ専門薬剤師が5人おり、今年さらに2人増える予定です。栄養サポートチーム専門療法士認定薬剤師は6人おります。その他、漢方・生薬認定薬剤師2名、抗菌化学療法認定薬剤師1名と専門薬剤師が揃っております。

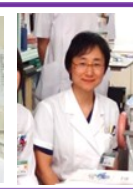
例えば、「お薬がどうしても残ってしまう」場合や、「お薬と食べ物との相性について」や、「お酒を飲んでいいのか・・・」、「脂肪を分解するっていうお茶と今飲んでいるお薬と一緒に飲んでいいの・・・」、「抗生物質は続けてのんでいいの？」など疑問に思ったらどうぞ薬剤師へお気軽にご相談ください。

専門薬剤師

栄養サポート専門療法士



抗菌化学療法
認定薬剤師



糖尿病療養指導士

漢方・生薬
認定薬剤師

公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

外来診療時間：午前 9:00～12:00

午後 1:00～5:00(ただし、診療科によって異なります)

診療予約受付電話：042-396-3511・3190

(受付時間：月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00)

当院ホームページはこちらから



<http://www.tamahoku-hp.jp>